

3. 今後の展開

- ポスト京都議定書をにらんだ森林火災抑制の位置付け・重要性
- 衛星観測の重要性：火災検知、火災の監視（アマゾンで始まっている）、森林バイオマスの推定
- アジアの取組み（センチネルアジア）の世界への拡大
- 観測継続の重要性：ポストMODISの観測手段の手当て（高頻度観測が重要）

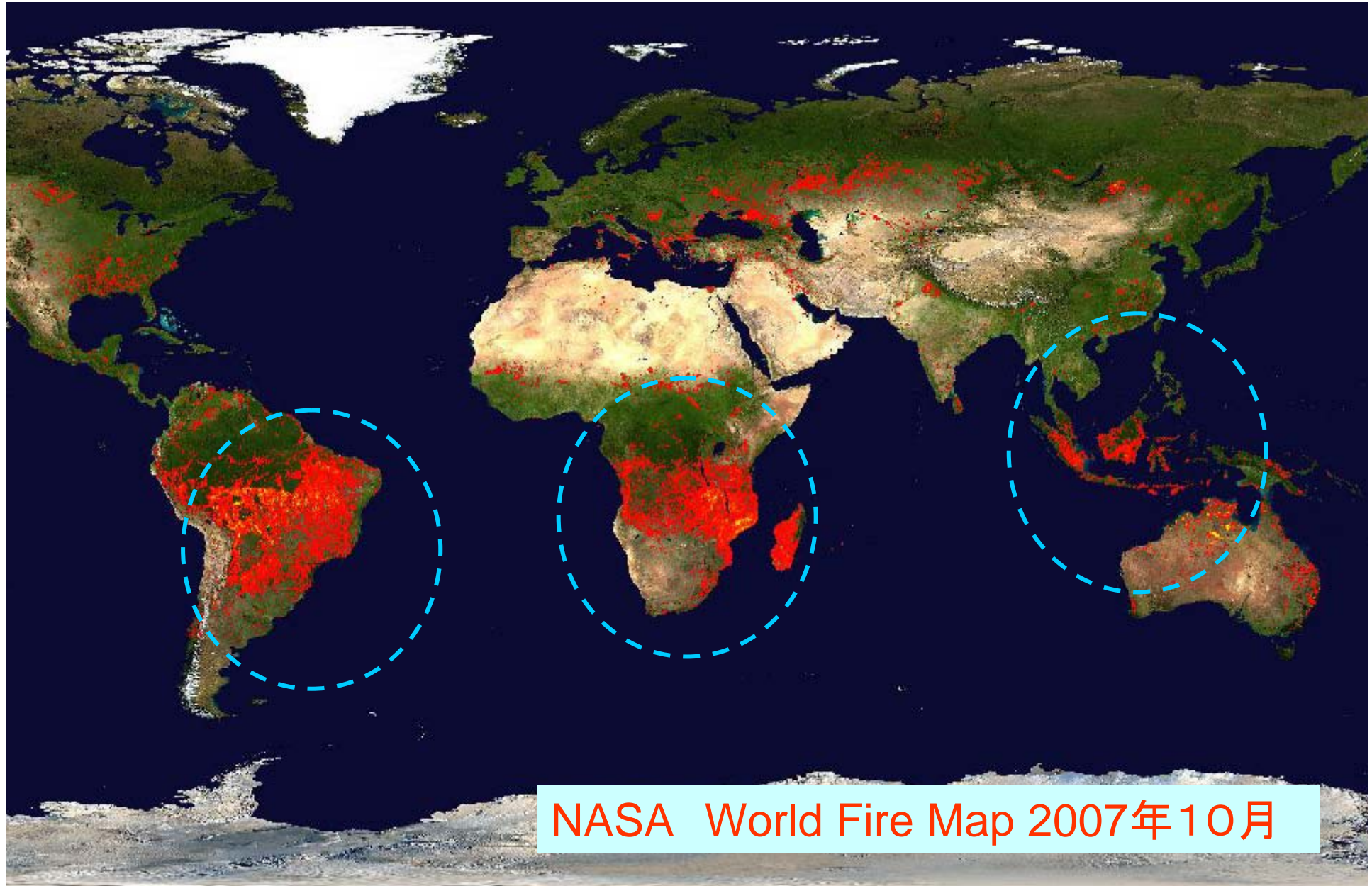
森林火災抑制のコスト効果

- ・カリマンタン島での平均焼失面積
100,000 ha /year in Central Kalimantan
- ・その10%を削減すると:
1ヘクタールあたりの二酸化炭素放出 20トン
先進国での削減コスト 1トンあたり \$40
 $10,000\text{ha} \times 20\text{ton} \times \$40 = \$ 8 \text{ million} = 800\text{万ドル相当}$

森林保全



センチネルアジア拡大の可能性



NASA World Fire Map 2007年10月

Sentinel Earth

